1．T-Messe2027の開催概要（案）

別紙２

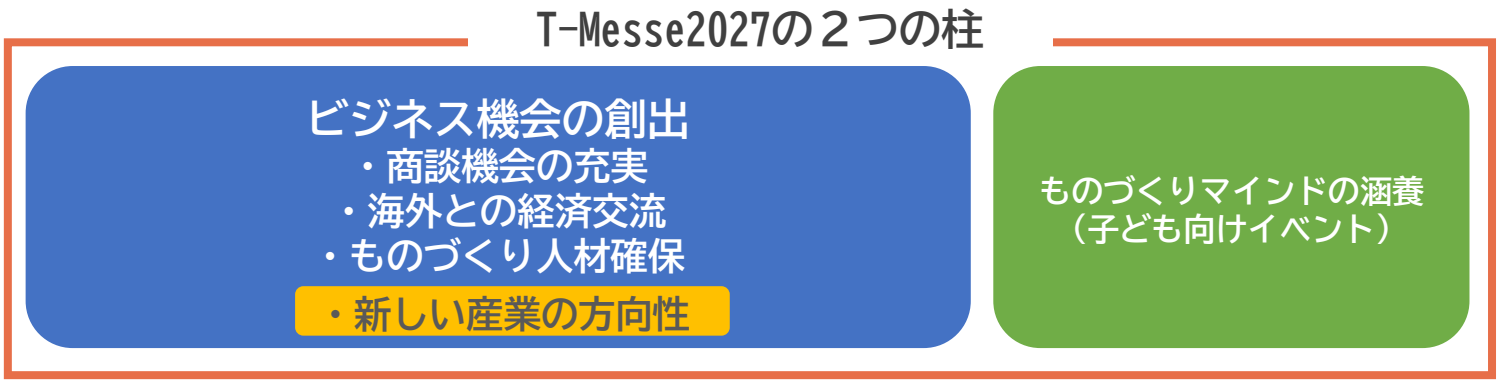
（1）名　　称：富山県ものづくり総合見本市

（2）通　　称：T-Messe（Tの意味：Toyama、Technology、Trade、Teamの頭文字）

（3）期　　間：2027(R9)年10月28日（木）～10月30日（土）

（4）場　　所：富山産業展示館（テクノホール）（富山市友杉１６８２）

（5）開催趣旨：富山の優れたものづくり技術や製品を国内外に情報発信し、商談機会の創出を図るとともに、学生・生徒等の県内ものづくり産業への関心を喚起し、併せてものづくりマインドの涵養を図る。



（6）対象業種：工作・産業機械、自動車関連、電子・電機、プラスチック、アルミ、繊維、医薬品、化学、鋳造・金型・金属加工品、食品加工、デザイン、クリエイティブ産業　ほか

（7）主　　催：富山県ものづくり総合見本市実行委員会
（各産業団体、経済団体、行政等で構成）

2．開催目的・コンセプトの明確化

「ビジネス重視の見本市としてほしい」、「イベントが多岐にわたり、T-Messeの本来の目的が分かりにくくなっている」、「出展費用をおさえたい」との意見を踏まえ、要望が強い「ビジネス支援」を強化するため、T-Messe2025での３つの柱を、「ビジネス機会の創出」と「ものづくりマインドの涵養」の２本柱に再編し、それに沿って開催内容の見直しを行う。

T-Messe2025の３つの柱

- 本県の優れた技術・製品などの情報発信、商談機会の創出
- デジタル技術等の受容による産業の新しい方向性の提示
- ものづくりマインドの涵養・ものづくり人材の確保

↓

「ビジネス」を主軸に、併せて「ものづくりマインドの涵養」を柱に設定

↓

T-Messe2027の２つの柱

- **ビジネス機会の創出**
  - ・商談機会の充実
  - ・海外との経済交流
  - ・ものづくり人材確保
  - ・新しい産業の方向性
- ものづくりマインドの涵養（子ども向けイベント）

■見直し内容

アンケート・ヒアリング に基づく現状・課題	対応	メリット	デメリット
大手企業のバイヤーの招聘や、バイヤー数を増やすなど、商談機会の充実が求められている。	これまでに確保してきたバイヤー数の充実（経済情勢によっては維持）を図る。 新たに事前アンケート調査を実施し、マッチング機会を充実する。	商談件数や成約件数の増加が期待される。	ー
イベントや企画数が多く、T-Messeの目的が不明確になっている。 ビジネスに寄せるのであれば、基調講演のある展示会でなくてよいとの意見があった。 出展者ブースが会場内に収まっていない。	開催目的に沿ってイベントを絞り込む。 ・基調講演の廃止 ・企画展示の縮小（２つ→１つ）	開催目的である商談機会の創出に、限られた予算・人的資源をより重点的に配分できる。 また、出展者のスペースをより多く確保できる。	これまで来場者数をKPIとしてきたが、来場者が減少する可能性あり。
リクルート企画が重複しており、学生が出展者ブースを巡る時間がとれない。	リクルート企画を「企業研究ラリー」に集約。 「リクルートセッション」は実施しない。	学生が出展者ブースを訪問する時間をより多く確保できる。	ー
出展者同士の交流の機会を求める声があったため、出展者・バイヤーが参加しやすい交流の場を設定する必要がある。	従来の懇親を目的とした「交流懇親会」から、商談促進を目的とした「名刺交換会」に変更。 見本市会場内（テクノホール）で実施する。	ビジネス機会の増加が期待される。 見本市会場で実施することで、出展者・バイヤーが多く参加しやすい。 見本市会場から懇親会会場（市内中心部）への移動が不要。	飲食（アルコールを含む）を含む懇親の機会がなくなる。

3．T-Messe2027の開催内容（案）

「ビジネス機会の創出」と「ものづくりマインドの涵養」の２本の柱に沿った内容で実施。

ビジネス機会の創出

■商談機会の創出
- 国内外の企業による出展展示
- 【拡】国内海外バイヤーとの商談会
- 【新】名刺交換会（テクノホール）

■海外との経済交流促進
- 【拡】海外バイヤーとの商談会
- 海外ビジネスセミナーの実施

■新しい産業の方向性
- 企画展示
  （例:AI体験コーナー、フィジカルAIなど）
- 【新】T-Startup企業の出展展示

■ものづくり人材確保
- 【拡】企業研究ラリーの実施









ものづくりマインドの涵養

■ものづくりへの関心の喚起
将来を担う子供たちを対象に、ものづくりへの関心を喚起するイベントを開催。
- ミニ四駆
- 科学ものづくり教室
- ミニドローン教室
- ロボ魂



出展者・来場者へのサービス

- シャトルバスの運行
- 海外出展ブース、商談会への通訳の設置
- 飲食エリアの充実
- 【拡】県内外、米国への出展募集
- 【拡】HPやSNS広告等による情報発信

4．開催までのスケジュール（案）

年度	月	主な内容	広報・出展者募集
令和8年度	11	**●第１回実行委員会**　見直し内容、実施体制、方針等の決定	
	11~12	**●第１回運営委員会**　出展募集の方針や今後のスケジュールの決定	
	12	○事務局業務受託者選定	
	12	○第１回企画立案検討チーム会合（以後、定期的に実施）　各種行事・レイアウト等の調整	・見本市公式HP公開
	1		・出展募集開始（１月末（予定）） ・出展者募集活動（SNS広告など）の実施
	2		
	3		
令和9年度	4		
	5	**●第２回実行委員会（書面）**　令和９年度予算の審議	・出展申込締切（５月末（予定））
	6		
	7		・出展者説明会
	8	**●第２回運営委員会**　開催準備状況の審議	・出展者用の案内状の作成・発送
	9		・開催告知活動の実施
	10	**●第３回実行委員会**　開催準備状況の報告	・開催告知活動の実施
		T-Messe2027 富山県ものづくり総合見本市（10.28～10.30）	
	11		
開催後		**●第４回実行委員会**　開催結果の報告	